



オリーブ・ラバーズ便り

今回は、オリーブオイルの品質偽造についてレポートします。このレポートは、オーストラリアにおける調査が主ですが、ご参考にしていただけたらと思います。オーストラリアでの厳しい規格をパスした弊社のオイルの良さを知っていただけたらと思います。

1. オリーブオイルの品質詐欺

環境に関する、欧州議会委員会は公衆衛生と食品安全のレポート報告を次のようにしています。“食品偽造は、利益が高くなる可能性のあるところでは、一般的に起こります。そして捕まるリスクは低いです”また、オリーブオイルは食品偽造のリスクが最もある製品であると認めています。食品技術研究所はオリーブオイル偽造では、イタリアのオリーブオイルと偽り他国のオリーブオイルと置き換えたり、安価なコーン、ヤシオイルなどが添加されていると述べています。2013年には、オリーブオイルに対する報告16%で粗悪品のトップとして評価されました。また、米国の薬局法条約の『食品偽造テーブル』でも、トップになっています。



4. 消費者の被害（オーストラリアの消費者対象調査にて）

a. 消費者は低品質のものにたくさんのお金を払っている

ヨーロッパでは“精製オリーブオイル”のラベルが貼られており、それに応じて値段をつけられますが、多くの国では、“ビュア”エクストラライト“などの紛らわしいラベルがつけられ、ヨーロッパよりも高値で売られています。これらはエクストラバージンオリーブオイルと同じような高品質だと思われがちですが、実際にはそうではあ

5. この問題に対処するためにやっていること

a. 真実のラベル付け

2002年以来、オーストラリアオリーブアソシエーション(AOA)は、オーストラリアで販売されているオリーブオイルの真実のラベル表示の信憑性について作業しています。消費者は彼らが食するものが、どこから来てどのような成分なのか通知されるを望みます。AOAはアメリカ、ニュージーランド、南アフリカ、アルゼンチン、スペインを含む国の仲間たちと協力して、オリーブオイルに関して、グローバルに活躍しています。

2. エクストラバージンオリーブオイル(EV00)は何が特別か、なぜそれを守る価値があるのか？

a. 品質と健康メリット

すべての主な食用のEV00は科学的、物理的に精製されていない唯一のオイルです。それはオリーブの実から搾った100%天然のジュースです。EV00は精製したオイルにはない、健康効果を文書で十分に裏付けられた、天然で新鮮な製品です。Dr. メアリー博士、ブラウン大学医学助教授、臨床、研究栄養士教授などは、“日常的にEV00を含む食事をとることにより、心臓病、がん、2型糖尿病、関節炎などの慢性疾患のリスクが低いとされています。EV00は慢性疾患の危険因子数を減少させることを示しています。”ワインと異なり、オリーブオイルは年月とともに劣化します。したがって消費期限は消費者にとって重要な判断ツールになります。多くの輸入業者は製品に消費期限を提示していません。オーストラリアの食品法では、消費期限は2年未満とされています。

b. 消費者はEV00を好むから、偽造の機会にあう

EV00の優れた健康効果を表示する文書により、世界傾向は製品の消費需要の増加につながりました。残念なことに、小売EV00に等級の低いオリーブ油または他の植物油を加えることは簡単です。そしてこれは、エクストラバージンオリーブオイルで見つかる偽者の高確率を占めます

b. オーストラリア規格の開発

2010年AOAは、オリーブオイルとオリーブボマスオイルのための、オーストラリア規格の開発に従事しました。日付、証拠、世界のベストプラクティスの国などの800を超えるパブリック委員会のコメントにより、包括的な見直しの後、オーストラリア規格協会認可のもと2011年規格が承認されました

c. 継続的市場監視

AOAにより、2011年7月から、オーストラリア規格が発行され、さらに市場監視が行われています。AOAはオリーブオイルの167サンプル(AU産65、輸入品105)をテストし、83%の輸入品がオーストラリアの規格に適合していないことがわかりました。

3. 消費者の混乱

a. ラベルと消費者のリサーチ

消費者の信用を得るために、低級の精製オリーブ油を混合する多くのブランドは、高級な製品の印象を与えるようにするために、紛らわしいラベル用語を使用します。“ビュア”ライト“エクストラライト”などのように、紛らわしいラベルで消費者は混乱します。

b. レポートの概要

・ エクストラ

ライト・・・対象のほぼ2/3 (64%)のエクストラライトオリーブオイルに“低脂肪”また同程度の割合(64%)で“低カロリー”と表示されています。また22%の消費者がエクストラバージンオリーブオイルより脂肪分が低いと思っています。品質に関して2人に1人の割合で(47%)エクストラライトをエクストラバージンオイルと類似した品質とみなしています。

・ ビュア

・・・使用者、非使用者の1/10人がビュアオリーブオイルが精製された、またはブレンドされたオイルとは思っておらず、オリーブだけから作られていると思っています。わずか16%の人が、それが異なる等級の油の混合だと認識しています。“ビュアオリーブオイル”も一貫して、高い品質のひとつとして評価されており、消費者はその油の処理法、



また41%がコーデックス委員会(国際食品規格委員会)の基準に適合していませんでした。オーストラリア産に関しては、オーストラリア規格の18%、コーデックス委員会規格に39%が適合しませんでした。テストでは、多くの輸入オリーブオイルが、誤ったラベル表示だけでなく認められた規則に基づく、人が食するのに適さないことがわかりました。オーストラリア政府でサポートされている総合的な研究発表では、オーストラリアで販売されている(主に輸入品)半分以上のエクストラバージンオリーブオイルで、ラベルはエクストラバージンだが、実際にはエクストラバージンオリーブオイルのグレードではなかったと示しました。

2012年ACCC（オーストラリア競争・消費者委員会）はオーストラリアの生産会社Bに対して行動を取り、今年はじめにはオーストラリアにオフィスをおくマレーシアの会社Mに対して行動を取りました。AOAはラベルにより誤解を招く表示をしたとして、証拠となるラベルを提示して、彼らが改善を検討していることを、観察中です。この不正行為の例として、

- ・生産会社Bでは、彼らのタブナード製品の賞味期限を改竄しており、使用されているオリーブオイルは、数々のテストに合格しないことが証明されました。
 - ・Mでのケースは、それはひと目でわかるようなケースでした。彼らはラベルにオリーブオイルと表示しておりながら、バックパネルにはキャノーラ油93%含むと記述していました。
 - ・Rブランド4 1 缶のケースは、パッケージにはオリーブオイルと主張しているが、バックラベルの内容はオリーブオイルとひまわり油のブレンドされた状態になっています。
- これらは簡単な3つのケースで、ACCCが、消費者を、誤解をまねくマーケティングから守るのにまだまだ十分ではないとしています。ACCCはオーストラリアの規格は、自発的であり、それを義務付けられていることを除き、強制できず、無力であるとしています。”エクストラ “ピュア “の表示に関する限定された改善されたとされていますが、実際にはほとんどのオリーブオイルのラベルは誤解を招き、オーストラリアの規格に適合していません。高品質のEVOOと見せ掛けた、精製オイルは、まだ蔓延していることが、心配です。

6.オリーブオイル偽造に対する他国の対処

製品が生産されている限りオリーブオイル偽造は出回っています。規格のない国は、常に低級で誤ったラベルを付けられたオリーブオイルのゴミ捨て場とされています。カナダはオリーブオイルの規格を変更するための、オーストラリアの国際的取り組みを支援してきました。また長年に渡り、カナダはその境界でオリーブオイルのテストを行い、偽造オリーブオイルを輸入しようとする人を起訴する数少ない国のひとつです。カナダの食品検査庁は、“オーストラリアが最近開発した規格の長所と同じにすべき”と、ヨーロッパ委員会のワークショップで、その活動を紹介しました。多くの会社や小売業者は彼らが本物のオリーブオイル、特にエクストラバージンオリーブオイルを定めて購入しようとするとき、オーストラリアの規格に完全に合わせられるヨーロッパのトレード基準を使用します。以下は、消費者を、偽造オリーブオイルと混乱から保護するために法律を可決する必要性をみてきた国のリストです。

アメリカ合衆国

2013年9月、アメリカ国際貿易委員会はオリーブオイルの競争力に関する報告書を公表しました。エクストラバージンオリーブオイルの生産者は、米国および海外市場で直面する課題の深さについての広範囲レビュー文書です。ヨーロッパの生産者によって持たれている取引保護と巨大な助成金は、広範囲に渡るオリーブオイルの偽造と誤ったラベル付けなど、アメリカオリーブオイル生産者に多大なハードルを与えます。

オリーブオイルの米国と主要外国サプライヤー産業間の競争条件についてのレポートでは、オリーブオイルの規格とテストの分野におけるパイオニアとしての、オーストラリアの主導的な役割を強調しています。長期的なオーストラリア政府業界とのパートナーシップでの成果によるオーストラリアの資産をこのプロセスで、少なくとも今消費すべきではないとしています

- ・米国のオリーブ産業はアップグレードして、国でのオリーブオイルの規格を見直し中である。
- ・農務省の農業マーケティングサービスは現在、オリーブオイルの等級のための米国標準規格への改正案に対するコメントを求めています。（オリーブオイルとボマスオイルの等級のために提案された米国基準）
- ・カリフォルニア州では、知事が、オリーブオイルの委員会の活動の中で確立しようとする前に、乗員の法案があり、オリーブの品質と信頼性に関する既存の法律を更新しています

ブラジル、中国、アルゼンチン、南アフリカ

アルゼンチンはオリーブオイルのための委任者の基準を持っています。（アルゼンチンコード）ブラジルは419-2011基準、中国はGB23347-2009基準を通しています。昨年、南アフリカは、地域産業を保護するために、自国で買ったオリーブオイルに相殺関税を実施し、現在はその国の法律にAS2514-2011を採用することを提案しています。

ヨーロッパ

2011年1月24日に欧州委員会規則の、オリーブオイルとオリーブ残留物の特性と分析および、その後の改正の関連法に規則を修正することは欧州連合加盟国では必須です。

ヨーロッパでは、また、ラベル表示を引き締めています。伝統的なオリーブオイルの生産者は最近グローバル競争が増加するにつれて、より厳しい規則制度を提唱しています。

最近、マドリッドの国際オリーブオイル協議会のジャン・ルイス氏は、オーストラリアのオリーブ協会に手紙を書き、国際オリーブ協議会がラベリングの詳細を述べている“IOC取引規格の第10章”を見直していることを助言しました。国際オリーブ協議会は“ピュア” “ライト” “エクストラライト” “などの誤解を招く用語を、ヨーロッパでは使用されていないが、他の場所では使用されていると認識しています。精製オリーブオイルはIOC規格での低級オイルとわかるラベル付けを要求しています。オーストラリアの規格では、さらに進んで、特にラベルで、正確に中身の説明をしなければならず、その際に”エクストラライト “ “ピュア “ “などのラベル付けはしてはならないと義務付けています。



7. オーストラリア規格とは

a. 一般的な標準規格

- ・オーストラリア規格は製品を確実にするために設計された仕様と手順を述べている公開された文書で、サービスやシステムは安全で、信頼性が高く、一貫して彼らが意味する方法を実行します。彼らは品質と安全基準を定める必要条件の最小限の設定を確立します。
- ・オーストラリア規格は、合意によって開発された、自主的な合意文書です。その使用が政府によって義務付けられたり、または契約に召集されない限り、彼らのアプリケーションが選択されます。多くのオーストラリアの規格は、彼らの厳密さのためや、政府による立法により呼び出され、義務化されています。オーストラリア規格は、問題に対する解決策を提供するために、政府や業界に適用できる規制スペクトラムツールのひとつです。

・オーストラリアの規格は、開発プロセスに厳格さと頑丈さとコンセンサスの重要性のため、業界標準とは異なります。製品がオーストラリア規格に沿うかどうか、具体化される第三者の証明と点検、テストで判断します。オーストラリア規格協会は、適合性評価や迎合性には関与していません。

b オーストラリア規格AS264-2011

・オーストラリアの規格は、オーストラリア規格協会が開発した自主的な規格であり、オーストラリアの貿易であるすべてのオリーブオイルやボマスオイルに適用されます。この規格はオリーブオイルとボマスオイルのグレードを定義し、これらのグレードのための化学組成および品質のパラメーターを指定します。ラベリングと梱包の要件を確立し、分析の許容可能なメソッドを示します。オリーブオイルとオリーブボマスオイルのオーストラリア規格は、化学と世界最高の水準により支えられており、委員会のメンバーは、すべての面において合意しています



8. オーストラリア規格を開発したのは誰？

オリーブとオリーブボマスオイルのためのオーストラリア規格は、以下の代表的な組織からのアドバイスを基準にオーストラリアが開発しました。

- ・農林水産省（政府機関）
- ・地方産業研究開発会社（政府機関）
- ・産業&投資NSW（オーストラリア産オイル研究所）（NSW州機関）
 - ・個人研究室（プライベート機関）
 - ・オーストラリアオリーブ協会（産業）
 - ・ニュージーランドオリーブ協会（産業）
 - ・オーストラリアオリーブオイル協会（輸入業者）
- ・オーストラリア税関（政府機関）
- ・オーストラリア全国小売業者協会
- ・ニュージーランド食品協議会
- ・オーストラリア消費者組合（プライベート）
 - ・ CHOICE（プライベートオブサーバー）
 - ・ ACCC-オーストラリア競争・消費委員会（政府オブサーバー）
- ・食品規格オーストラリア&ニュージーランド（政府オブサーバー）

繰り返しになりますが、オリーブオイルのオーストラリア規格は、情報/真実のラベル付けからできています。（すなわち、製品に“エクストラライト”や“ピュア”などと表示することはできません。また、これらは、精製オリーブオイルと呼ばなければなりません。）そして、食品安全上、エクストラバージンは、精製したものではなく、一定の品質規格を満たしてはなりません。

参考資料：オーストラリアオリーブ協会

